



インタビューに挑戦する工藤さん(左)

## 12月14～15日

### 働くことの大切さを学ぶ 茶路中学校職場体験

茶路中学校2年生の工藤光稀さんと對木佑郁さんが、ふるさと総合学習の一環で職場体験を行いました。

工藤さんは役場で広報の仕事を、對木さんは温水プールでの仕事を学びました。工藤さんは「写真撮りからインタビューまで貴重な体験ができて良かったです」と話していました。※右下の「クリスマスタルト作り講座」の写真と記事は工藤さんが作成しました。



寺島さん(左)にアドバイスを受けながら消しゴムを削る参加者

## 12月16日

### 遊び心で楽しくはんこ作り 消しゴムはんこ教室

白糠学園の教諭、寺島蘭さんによる「消しゴムはんこ教室」がウレシパチセで開かれました。

参加者は、来年の干支である辰の絵やアイヌ文様など、自分だけのオリジナルな消しゴムはんこ作りに挑戦。釧路市から参加した深山照彦さんは自分の名前の消しゴムはんこを作り「細かいところを彫るのが難しかったけれど、うまくできました」と喜んでいました。

## 12月12日

### 共生社会の実現へ「つなぐプロジェクト」 北海道労働金庫が防災備蓄品の寄贈

北海道労働金庫釧路支店は、子ども食堂などを行っているNPO法人陽向ぼっこ（儀同一義代表）に防災備蓄用の水と野菜ごはんを寄贈しました。寄贈は、労金が実施している「つなぐプロジェクト」の一環です。

この日は、同支店から三宅江里子副支店長と職員の間澤拓弥さんが陽向ぼっこを訪れました。寄贈品は陽向ぼっこを利用している子どもたちに渡されます。



左から山澤さん、儀同代表、三宅副支店長

## 12月15日

### お菓子作りでクリスマス気分 クリスマスタルト作り講座

町教育委員会が主催する季節のフルーツを使ったクリスマスタルト作り講座が社会福祉センター料理室で行われ、町民9人が参加しました。

講師は製菓衛生士の山本若恵さん。参加者はその実演や話を見聞きして作っていました。参加した林玲子さんは「タルト作りは初めてで、生地を作るのが大変でしたが楽しかったです」と話していました。



「バターは温度調節が大事」と話す山本さん(中央)



「今年、白糠町内では5件の人身事故があった」と話す近江課長

## 12月10日

### 交通安全意識を高める 交通安全町民大会

交通安全町民大会が社会福祉センターで開催され、町民約80人が参加し、交通安全意識を高めました。

大会では、北海道釧路方面釧路警察署交通第一課の近江千晶課長が、高齢者や小学生の歩行者の死傷者数などを報告。また、今年実際に起きた数件の交通死亡事故の状況を説明し「いずれも気を付けていれば防げた事故。注意を払って運転してほしい」と話しました。

## 12月12日

### 白糠学園1、2年生 英語ではじめてのおつかい

白糠学園の1、2年生が英語を使って買い物をする「英語ではじめてのおつかい」に挑戦しました。

白糠町では、今年度から町立学校と田中学園立命館慶祥小学校と連携事業を実施。田中学園から英語教諭を派遣してもらい月2回、小学1、2年生が英語の授業に取り組んでいます。

この日は、ダイソー白糠店の協力で1、2年生が英語を使った買い物に挑戦。外国語指導助手(ALT)のマシュー先生が店員役を務め、英語で接客しました。

児童は、店員のマシュー先生に「私はお腹がすいているので、〇〇(〇〇には自分が買いたいものが入る)がほしい」と英語で話しかけたのち「これはいくらですか?」と尋ね、レジでお金を支払いました。

サポートにあたった田中学園の松浦靖高教諭は「教室の授業で話す英語と、実生活で使う英語とはやっぱり違いますので、一人で買い物をするという緊張感も含めて、すごくいい経験になったと思います」と話していました。

## 12月9日

### クリスマスリースを作ろう 折り紙講座

町教育委員会主催の「折り紙講座」が公民館で行われ、町民9人がクリスマスリース作りに挑戦しました。

講師は折り作家の佐々木真美さん。参加者はサンタクロスや花などを折り紙で作り、リースにシールやリボンを付けるなどして、かわいく仕上げました。

成澤真弓さんは「クリスマス前なので、完成したら家に飾りたいと思います」と笑顔で話していました。



講師の佐々木さん(右)にアドバイスを受ける参加者



店員のマシュー先生に「これはいくらですか?」と英語で尋ねる児童。マシュー先生から英語で金額を聞き、レジでお金を払うまでが今回の授業の流れです。マシュー先生は「1年生は緊張していたようですが、2年生の英語能力は高い」と話していました